

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスLinde				公表日 2025年 12月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・備品の置き場の整理整頓に努めている。 ・机上学習時に必要に応じてパーテーションを設置している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用児が安全に療育を受けられるよう配置を考えている。	人員配置は問題ないが実際足りないと感じる場面がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		階段に手すり、玄関には椅子を設置しバリアフリーや安全面に配慮している。	入口玄関は段差の低い階段となっておりスロープも検討したいが、一軒家をそのまま使用しているため難しい面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動内容によっては庭で活動したり河川敷へ行く。体力向上も兼ねている。 毎回掃除や除菌シートで拭き綺麗な空間を保っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		状況に合わせて使用できるよう小部屋やパーテーションを設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・勤務の都合上参加できない職員もいるが別日を設けて話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・開所して初めての評価表になり、今回の結果を確認し必要に応じて改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝礼等で情報共有の場を設けている。 ・その都度情報共有している。	・資質向上のための療育経験のある若手社員の採用が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・第三者評価は設置していないが、他事業所や法人内のグループから意見等があった場合は改善している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・積極的な参加ができるように努めている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・HP上に公開している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個別支援計画策定の際にニーズや課題を聞き、それに合わせた療育プログラムを個々に設定している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		常に情報共有を心掛け実施している。	
	14	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画作成後は職員全員に情報共有を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・児童の状態に応じて寄り添った支援を心掛けている。	
	16	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		自発管・責任者が定期的に会議に参加し得た情報を職員と共有して話し合いをされている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・朝礼時等で各々から意見を求めるより良い支援ができるよう意見を出し合っている。	

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・成長や発達に合わせて毎回異なるプログラムを実施している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・支援内容の個別化を計り支援方法を共有した対応をしている。 ・机上訓練は個別に実施し長期休暇では他児童と関わる時間を設けている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝礼や支援前に打ち合わせを実施している。	勤務時間の都合上、打ち合わせをする時間がない時もある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・気づいた点は都度報告し合い、翌営業日に必ず振り返りを実施するようにしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・活動内容を記録、共有し、職員がいつでも振り返られる体制を整えている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・見直しが必要であると判断した際は見直しを行い保護者に連絡を取るようにしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3		送迎は実施していない。 サービス担当者会議等では情報共有を行っている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		サービス担当者会議では情報共有を行っている。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		4月開所のため未だ移行の支援の段階ではない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		研修があれば参加し知識を深めている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		事業立ち上げたばかりのため今年度は難しかが今後積極的に進めていきたいと考えている。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		日程の都合がつかず参加できていないが今後は調整し参加していきたい。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		都度共有している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		事業立ち上げたばかりのため今年度は難しかが今後積極的に進めていきたいと考えている。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		毎回通所時に児童の様子を保護者と話す時間を設けている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		契約時に行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談を受けた際は対応させていただいている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		事業立ち上げたばかりのため今年度は難しかが今後積極的に進めていきたいと考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		支援の方向性について保護者や本児の思いを尊重している。現時点では苦情やご意見はなく円滑に進められている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		LINEやSNSを活用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		ロッカーには鍵をかけ、取り扱いは慎重に行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ひらがな表やPC等を使い個々に対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		事業立ち上げたばかりのため今年度は難しかが今後積極的に進めていきたいと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルは職員がいつでも見れる場所に設置し、定期的に研修を実施し職員に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的に研修を実施し職員に周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認し職員全員に周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修を実施し職員に周知している。 毎月安全表に記載された箇所を確認しチェックを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約に実施している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		定期的に研修を実施し職員に周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を実施し職員に周知している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		定期的に研修を実施し職員に周知している。 個別支援計画にも記載済み。	